

決算特別委員会

I 日 時 令和5年10月4日（水）

午後1時00分開議

午後2時45分休憩

午後2時55分開議

午後4時43分閉会

II 場 所 大会議室

II 出席委員

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 渡辺 守人 |
| 副委員長 | 筱岡 貞郎 |
| 理事 | 川上 浩 |
| 〃 | 八嶋 浩久 |
| 〃 | 澤崎 豊 |
| 〃 | 針山 健史 |
| 〃 | 安達 孝彦 |
| 委員 | 佐藤 則寿 |
| 〃 | 尾山 謙二郎 |
| 〃 | 大井 陽司 |
| 〃 | 寺口 智之 |
| 〃 | 鍋嶋 慎一郎 |
| 〃 | 瀧田 孝吉 |
| 〃 | 立村 好司 |
| 〃 | 谷村 一成 |
| 〃 | 庄司 昌弘 |
| 〃 | 大門 良輔 |
| 〃 | 瀬川 侑希 |
| 〃 | 藤井 大輔 |
| 〃 | 種部 恭子 |

| | |
|---|--------|
| 〃 | 岡崎 信也 |
| 〃 | 井上 学 |
| 〃 | 井加田 まり |
| 〃 | 永森 直人 |
| 〃 | 瘡師 富士夫 |
| 〃 | 火爪 弘子 |
| 〃 | 宮本 光明 |
| 〃 | 五十嵐 務 |
| 〃 | 中川 忠昭 |
| 〃 | 鹿熊 正一 |
| 〃 | 菅沢 裕明 |
| 〃 | 米原 蕃 |

IV 出席説明者

| | |
|----------|--------|
| 会計管理者 | 堀口 正 |
| 厚生部長 | 有賀 玲子 |
| 中央病院長 | 臼田 和生 |
| 知事政策局長 | 川津 鉄三 |
| 地方創生局長 | 竹内 延和 |
| 交通政策局長 | 田中 達也 |
| 経営管理部長 | 南里 明日香 |
| 商工労働部長 | 中谷 仁 |
| 農林水産部長 | 津田 康志 |
| 土木部長 | 市井 昌彦 |
| 企業局長 | 籠浦 克幸 |
| 教育長 | 荻布 佳子 |
| 危機管理局長 | 武隈 俊彦 |
| 生活環境文化部長 | 廣島 伸一 |
| 警察本部長 | 石井 敬千 |
| その他関係職員 | |

V 会議に付した事件

1 普通会計

- (1) 令和4年度富山県歳入歳出決算に係る説明聴取
- (2) 令和3年度富山県歳入歳出決算に係る要望指摘事項に対する措置状況等についての報告

2 企業会計

- (1) 令和4年度電気、水道、工業用水道及び地域開発事業会計決算状況の説明聴取
- (2) 令和4年度病院事業会計決算状況の説明聴取
- (3) 令和4年度流域下水道事業会計決算状況の説明聴取
- (4) 令和3年度決算に係る要望指摘事項に対する措置状況等についての報告

3 その他

VI 議事の経過概要

< 普通会計 >

1 報告及び説明事項

堀口会計管理者

- ・令和4年度富山県歳入歳出決算の概要について
有賀厚生部長、川津知事政策局長、竹内地方創生局長、
田中交通政策局長、南里経営管理部長、中谷商工労働部長、
津田農林水産部長、市井土木部長、荻布教育長、
武隈危機管理局長、廣島生活環境文化部長、石井警察本部長
- ・令和4年度主要施策について
- ・令和3年度決算に係る要望指摘事項に対する措置状況について
- ・R④サンドボックス予算の執行状況及びR⑤当初予算への反映状況

2 主な発言の要旨

《教育委員会》

菅沢委員 まず、前から気になっていることなんですけども、富山県の一般会計の中で占める教育予算です。大事な分野の予算であります、今日の決算報告でも、決算の結果、歳出は1,008億円ですね。当初予算は令和4年度は1,047億円でした。まあいろいろとあるようですが。

何を申し上げたいかいうと、この決算額である歳出決算の1,008億円というのは、この四、五年の決算状況を見ますと、ずっと下がり続けてきています。新田県政になってからも下がってきておりますけれども、石井県政の最後の令和元年、令和2年度から見ても、実は100億円ほど決算額が下がってきております。

この富山県の教育予算の決算レベルは全国の統計資料を見ますと、いわゆる一般会計の中で占める教育費の決算額の割合は、最近では全国で三十七、八位と、低位、下位であります。大事な教育予算がどうしてこうなっているのか、私はいつも疑問に思っているところであります。

令和5年度は当初予算が1,035億円ですから、恐らく、来年の教育予算の決算額は、初めて1,000億円を切りますね。教育の予算額や特に決算額は、県予算の中では王様、一番頭を出している分野ですけど、来年は恐らく土木と農林の決算額に並ぶ。まあ様変わりという印象を受けます。

富山県の教育予算というのは、もともと低いんです。先ほど決算額の全国比較についても、低いのが下がり続けていると申し上げましたけれども、こういう教育予算の深刻な状況について、なぜこうなっているのか。教育長は、そういう教育予算の低下の傾向について、どういう問題意識をお持ちかというのが第1点です。

委員長、今日は決算ですから、まとめて質問していいで

すか。

渡辺委員長 はい。

菅沢委員 私はなぜなのかなと考えるんですけど、県教育、子供たちの学びを巡ってこれだけ様々な問題が噴出し、課題が山積して、解決しなければならない喫緊の課題も多うございます。この間、テレビでは、いじめや子供の自殺のことについても統計資料で報道されておりました。子供たちのことを巡っても様々あります。

私はそういう当面する教育課題に積極的に取り組む県教育委員会の姿勢、予算の問題ですからすぐ知事部局、財政がどうだという議論になるんですけど、そうではなくて、教育の現場を預かる皆さんのそういう喫緊の課題に取り組む姿勢、一生懸命やっておられるのは尊敬します。しかし、その現実にもう少し率直に向き合っていたきたいという気持ちでおります。

その論証を私なりに説明をしますと、例えば、少人数学級、35人学級は、富山県は全国でも既に後進県です。小学校5年生から6年生でちょっと、6年生はまだ国基準でやっているんでしょう。中学生は1年生は選択制で、2、3年生はまだです。全国ではこれも後進県ですね。これは県単で教員を雇用して、ちゃんと対応するような積極性が足りない。

それから、今回の9月定例会でも私も幾つか論じておりましたけれども、教職員の配置を巡って正規と非正規——正規でも120人近くの欠員が出ているでしょう。どこの都道府県も同じだとおっしゃるんですけど、富山県は120人ほどで例年変わらない、むしろ増えている。そういう教員の欠員を放置している。

そして、今年の例で言いますと、未配置の教職員も年度途中の9月段階で、既に20人ほど未配置が出ているんです。

教育現場に穴が空きつつあるんです。

私はこの教職員の配置、正規と非正規も含めて、文科省の全国比較の資料が出ていて、それを見てびっくりしました。富山県は正規の割合は高いけれども、非正規の雇用、学校現場は正規であろうと非正規であろうと人手が欲しいんです。さっきスクールカウンセラー、外部人材のこともありましたけれども、文科省の資料から見ましたが、富山県はそういう学校現場で働く教職員関連の人材の確保数が、全国比較でも私は低いレベルではないかと思っております。これは一体どういうことなのか。

そういう中で、実は非正規の方々が今600人近く働いていらっしゃるけれども、この非正規の方々の人数の多さ、この確保に四苦八苦していらっしゃるの、人材確保が難しいのは、今日はあまり深く論じられませんが、この非正規の人たちの中に20年近く、それ以上30年と働いている方がいらっしゃるわけです。

渡辺委員長 予定の時刻を遅れておりますので、質問は簡潔にお願いします。

菅沢委員 いやいや、まだ時間は十分ありますよ。この非正規の人たちの中に、20年、30年勤めても、高校の教員でいわゆる給料の上限が27万円、小中学校の教員の上限が25万円で、富山県の場合は、非正規の人は本当に劣悪な賃金体系で放置されている。全国的にはもう既に35の都道府県で上限を撤廃しているんです。

この間の議会でこれについて私どもの同僚議員が質問したときに、財政がどうのと逃げているんです。真正面から現場のそういう問題に取り組もうとする姿勢が弱いんじゃないですか。そして富山県の教職員、正規、非正規も含めて、学校で働く人数というのが都道府県の比較の中でも少ないと。こういうところがなぜなのかと。こういう教育現

場の実態について皆さんがもっと現場へ足を運んで、真正面から向き合って、問題の解決のために努力すべきですよ。そういうことができていない。不十分。私はそういう中に今日の富山県教育の現状があると。

そういう意味では、それがもう如実にこの決算額の低下、つまり教育予算の低下なんです。来年は決算額で1,000億円を切りますよ。これは異常な事態だと私は思っておりまして、幾つか申し上げました。時間がないのでこれ以上詳しくは触れませんが、これは決算、富山県の令和4年度の決算の要の一つだと私は思っております。

そういうことで、個々の論点はこれから議論の場がありますけれども、今日は総括的にこれを問題にしたいということで、質疑ということで答弁もお願いしたいと。時間があったら、あとで追加でやりますよ。

以上です。

荻布教育長 教育費の決算額が減少してきているという御指摘でございます。大きなトレンドとして生徒数の減少ということがございますので、それに伴う教員配置数の減少という大きなトレンドというのがあります。

そういったことがあるということは申し上げておきたいと思いますが、全体の県の歳出の中での占める率ということについては、全国での順位ということもおっしゃいましたが、すみません、その点については今、正確なことを把握しておりませんので、後ほどまた勉強してみたいと思います。

ただ御指摘のとおり、教育の充実というのが今こそ大切だという御趣旨は、全くそのとおりだと思っております。今年もG7の教育大臣会合も開かれて、その中でも、今後の生徒たちの可能性を伸ばしていく教育、多様な生徒にきめ細かく指導をしていく、そういったことの重要性、また

その教育を担う教員の働く職場環境の改善といったことも宣言の中で盛り込まれておりました。その大切さというのは十分理解しているつもりでございます。

欠員臨任などのお話もございましたけれども、欠員臨任の講師についてはここ数年努力をしまして、減らす努力をしてきているところであります。なるべく学校が安定的にゆとりをもって教育活動ができる環境づくりというのは、おっしゃるとおりだと思いますので、この点は私どもも今後とも努めていきたいと思っております。

教育の課題に正面から向き合って、知事部局ともしっかり議論をして、充実に努めていきたいと考えております。

＜ 企業会計 ＞

≪ 病院事業会計 ≫

【 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 】

(1) 報告及び説明事項

有賀厚生部長

- ・ 令和4年度病院事業の概要について

(2) 主な発言の要旨

特になし

【 富山県立中央病院 】

(1) 報告及び説明事項

臼田中央病院長

- ・ 令和4年度病院事業会計決算の概要について

酒井中央病院医療局長

- ・ 令和4年度病院医療の概要について

太田中央病院事務局長

- ・ 令和4年度病院事業の概要について

(2) 主な発言の要旨

特になし

《流域下水道事業会計》

(1) 報告及び説明事項

市井土木部長

- ・令和4年度流域下水道事業会計決算の概要について

(2) 主な発言の要旨

特になし

《企業局各事業会計》

(1) 報告及び説明事項

籠浦企業局長

- ・令和4年度電気、水道、工業用水道及び地域開発事業会計決算の概要について
- ・令和3年度決算に係る要望指摘事項に対する措置状況について

(2) 主な発言の要旨

特になし